

市測協だより

(第42号)

平成24年1月発行

社団法人 福岡市設計測量業協会

福岡市中央区薬院1丁目6番16号

〒810-0022 百田興産ビル201号

TEL (092) 751-8246

FAX (092) 751-2271

<http://www.f-shisokukyo.or.jp>

E-mail: info@f-shisokukyo.or.jp

福岡市財政局理事

椎原 啓二



新年あけましておめでとうございます。

福岡市設計測量業協会の皆様方におかれましては、
新春を晴れやかに迎えられましたことと心からお喜び
申し上げますとともに、日頃から本市公共事業やまちづくり
の推進に多大なる貢献をいただき、深く感謝いたしております。

福岡市においては、少子高齢化社会の進行に伴う市民ニーズの増大や変化、安全・安心意識の高まり、社会資本の大量更新期到来に伴うアセットマネジメントの必要性など様々な課題に対応するため、経済的成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスがとれた「人と環境と都市が調和のとれたまちづくり」に向けた各種施策を積極的に推進しております。

福岡市の人口も、148万人を突破し、政令指定都市で6番目の都市となりました。

また、日本一元気のある都市という高い評価を受けており、アジアに開かれた魅力溢れる街として成長を続けております。

しかしながら、市民の皆様方からは、雇用や景気向上対策が強く求められており、本市発注の公共事業においても可能な限り地場企業を優先し、受注機会の増大に努めております。

さらに、早期発注や代金支払いのスピードアップなど、地場中小企業の皆様の経営安定化に向け様々な取組みも行っております。

本年も福岡市では、財政状況に厳しいものがありますが、都市の成長を図るべく市民生活や将来のまちづくりにとって真に必要な施策は、積極的に事業化を進めることとしております。

社会資本整備において、設計・測量の技術は欠くことのできないものであります。貴協会会員の皆様方の一層の技術向上を期待するとともに、引き続き本市へのご支援・ご協力をお願いいたします。

最後に、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご繁栄を心から祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

「元寇防塁跡 西新」写真提供:福岡市

社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員はふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力をつくします。

新年のごあいさつ

社団法人 福岡市設計測量業協会

会長 長谷川 敏治



平成24年という新しい年を迎え、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年の3月11日14時26分に発生した東日本大震災は、マグニチュード9.0という、わが国の観測史上最大規模の地震、大津波によって東日本の太平洋側地域に多大な被害を及ぼしました。

加えて、原子力発電所の事故とその被害の広がりなどもあり、自然災害の脅威とリスクを改めて思い知らされる出来事となりました。これを受けて当協会では、4月初めに、東日本大震災義援金を福岡市へ寄託致しました。ご協力ありがとうございました。

大震災当日は、夕方から市内で「福岡市災害復旧支援活動の勉強会」を開催していたこともあり、協会と災害復旧支援について、運命的であると思いました。また、平成17年3月発生「福岡県西方沖地震」の災害復旧対策に当協会でも取り組み、地域コンサルタントとして、支援に苦慮したことも思い出しました。

一方、我々業界を取り巻く、経済・社会の停滞感が強まって、厳しいものがある中、協会会員の皆様におかれましても、日々努力されていることと案じます。そのような中、8年振りにソフトバンクホークスが5回目の「日本一」に輝いたことは、直近のホットな話題でありました。国内でも福岡市は、住みやすく、元気がある都市と言われているので、地域に住む我々が、停滞感払拭のけん引になるような意気込みを持たなければならないと強く感じています。

また、国の政局混迷の中、世界経済影響による円高傾向が続くなど、相変わらず不安定な中において、大阪・名古屋をはじめとする地方・地域から新しい潮流も活性化してきており、これまでの地方・地域の在り方について、考えを改める機会が巡ってきているような気がします。

我々協会においても、協会員各社における日々の生活の足元は十分に固めつつも、協会全体が強い「絆」のもとに、一致団結することが、この先行き不透明な中で生き抜く道であると信じています。一緒に、がんばりましょう！

最後になりましたが、会員皆様の健康と発展を心より祈念いたし、新年のあいさつに代えさせていただきます。

理事会報告

- 8月 9日 ・福岡市へのPR活動実施
～11日 福岡市の各部局・各区役所等(280箇所)
- 8月22日 ・福岡市へのPR活動報告
 - ・福岡市との意見交換会について
 - ・設計業務等における管理技術者について
 - ・経営者研修会について
 - ・正会員入会申込資格要件について
 - ・福岡県土整備部総務課実態調査の報告
- 9月20日 ・設計業務等における管理技術者について
 - ・測量・設計・二次製品に関してアンケートについて
 - ・測量部会の今後の取り組みについて
 - ・経営者研修会について
 - ・市測協ホームページ掲載内容刷新について

- 10月31日 ・平成23年度中間事業報告
 - ・経営者研修会報告
 - ・福岡市との意見交換会について
 - ・福岡市道路下水道局職員研究発表会の開催報告
 - ・福岡市技能功労者表彰式について
 - ・道路交通情勢調査詳細要綱の確認
 - ・資格保有者アンケートについて
- 12月12日 ・福岡市との意見交換会について
 - ・福岡市へのPR活動配布箇所の確認
 - ・市測協だより第42号について
 - ・役員選考委員の選任について
 - ・一般社団法人への移行について



測量 Q&A

鏡を使って何をしているの



Q 道路でよく三脚の上にミラーを立てて測量していますが何をしているのでしょうか。

A 私たちが測量していると、よくミラーを覗いていく方がいます。どの方向から覗き込んでも自分の顔しか映りませんので不思議そうにしています。これは光で距離を測るために設置したミラー(反射プリズム)です。器械から照射してきた光を正確に元の器械に反射させる事ができます。それによって距離を測っています。光は近赤外光ですので目で見る事はできません。人体に対して全く無害です。専門的になりますが、測定方法には位相差測定方式とパルス測定方式があります。近年は反射プリズムのターゲットを設置しなくても距離を測る事ができるようになりました。(ノンプリズム光波距離計) 測距光はレーザー光(可視光)を用います。人体には特別な危険はありませんが、直接覗き込むと目を傷める恐れがありますので絶対に覗かないで下さい。昔のように巻尺を用いて距離を測るのは不便で、交通量が多い場所では危険で精度も良くないと、巻尺を使って、距離を測る測量士は見掛けなくなりました。

測量 体験

三筑小学校6年生の測量体験



▲ アリダード

12月21日、博多区の福岡市立三筑小学校6年の生徒の皆さん103名が測量の実習を通して、算数(比例)の体験学習を行い、福岡国土建設専門学校の方と、当協会員が測量の出前授業として参加しました。

測量の体験は、5~6人が1チームとなり、約20チームが測量機器アリダードを使って、学校の屋上の高さを求める事です。肌寒いなか、寒さを忘れて1人ずつ夢中で測定していましたが、測量機器を読む値が各自違うので、「平均値で計算しよう」等いろんな意見がでたりして先生方も感心していました。

各チームの高さが出揃った時点で、最新測量機器(ノンプリズム光波距離計)を使って精密な高さを生徒自身で観測した結果、「15.39m」でした。生徒が計算で求めた高さは約15.60mでその差は約20cm、初めての体験で大したものです。

これを機に、測量に関心をもち将来優秀な測量技術者が誕生するかもしれませんね。



▲ 測量の体験学習をする生徒のみなさん



▲ 最新の測量機器で観測

一般社団法人への移行にむけて

当協会では、現在の特例民法法人から一般社団法人への移行にむけて、平成23年7月8日に担当行政庁の福岡県土整備部県土整備総務課に移行認可の申請を行いました。

12月9日、福岡県公益認定等審議会での諮問をうけ、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第117条に規定する認可の基準に適合すると認められました。(公益法人information ホームページ>全国の新着情報>答申・勧告・その他決定等12月13日付に掲載)

なお、移行認可を受けた際には、法人の名称や組織運営に係る規制が変更されることから、移行の登記の前後で事業年度を区分しなければならない為、特例民法法人としての最終事業年度を3月31日、一般社団法人としての初年度を4月1日として登記を行えるよう準備中です。

平成23年度経営者研修会

10月28日、「東日本大震災被災地の現状と、協会に出来ることをテーマに平成23年度の経営者研修会を開催した。

研修では、3月11日に発生した東日本大震災による大津波にのまれ、未曾有の大災害に遭った、宮城県仙台市・岩手県南三陸町・陸前高田市などでボランティア活動に携わった、当協会理事の尾川昇氏と、設計部会の熊谷俊明氏による被災地の復興を願っての報告会を行った。

現地での被災状況の写真と説明を聞きながら、惨事を目の当たりにして自然の破壊力に圧倒された。

災害から10ヶ月がたち、春から夏、秋を過ぎ、厳しい冬の季節へと変わったいまも、必死で立ち向かっている被災地の方々の生活ははるかに想像を絶します。

これからも私達が東北を応援し続けることが、日本の元気につながっていくことと確信いたします。

そして、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

「がんばれ東北！ がんばろう日本！」



▲ 被害状況の説明をする熊谷氏



震災ボランティアを振り返って・・「陸前高田市より」

(株)クマガイ設計測量事務所 熊谷俊明

3月11日は会合があり、ちょうど帰宅してテレビを付けた時、地震速報と現地がテレビに映し出され「すごい地震」・・・日本が大変な事になったとテレビに見入ってしまったことを思い出す。その時は自分達だけが、のうのうと仕事をして毎日を過ごしていいのだろうかと自問自答したものだ。

それから6ヶ月が過ぎ、9月にその想いを胸に現地に馳せ参じた次第だ。そこでは、日本人の気質というか、まだまだ日本は大丈夫！と思わせるほどのボランティアが全国から集結していたことに、驚きを感じた。しかしながら、被害に遭われた人しか分からない悲惨さと、意気込んで行ったボランティアも唯の観照に過ぎなかったという想いと、遠隔地である無力さを思い知らされた4日間だった。

そして、6ヶ月の月日は、がれきの撤去を順調に進ませているが、避難生活の人達にとってはまだまだ辛い日々が続いている事には変わりはないし、一日も早い復興計画が実施されることを期待するところだ。

この東日本大震災は、日本の経済状況が停滞、社会の閉塞状況の中で起こった震災であり、国の危機とも思える出来事だった。しかも、まだ記憶も覚めないあの阪神淡路大震災から16年足らずに起こった大震災であり、ショックは誰しもが感じたはずである。

陸前高田市はもちろん、被災した市町村は、震災復興に向けて色々な思いがあり、この実現に向けて邁進しているであろう。日本は過去、戦争で焼け野原になった土地を必死に復興してきているその状況と、今回は当然違うことは言うまでもないが、この復興に当たって国は、その膨大な復興費を国債の発行と税金で賄うべく議案を成立させ、短期・中期・長期とあるが、おおむね5年で重要なインフラ、防波の完了をめざすそうだ。

そこで、例えばエコタウンや新ビジネス等などが、うまくその地域に受け入れられ実現できれば、素晴らしい事だし、その取り組みが先行モデルともなれば、この復興が新たな日本の成長となるような、是非そんな発想を実現させて頂きたい。

最後に、被災者の心のケアと被災地の復興が進むことを願いながら、数年後必ず陸前高田市を訪れ、その復興を見極めたいものだ。

本年度の経営者研修会を終えて(常識の打破)

都市企画センター(株) 尾川 昇

市測協の経営者研修会は、佐賀県富士町の古湯に於いて開催された。研修のテーマは東日本大震災の現地ボランティアに参加した二組の体験談が採用され、しかも二組共、市測協のメンバーであった。一組は西区の(株)クマガイ設計測量事務所の社長熊谷氏が、岩手県陸前高田市の数多くの現地写真を丁寧に編集されており大震災の様子が、生々しく再現されて皆様には充分理解がなされたとおもいます。又、ボランティアの作業状況や共同生活が事細やかに記録されていて皆様が感心されていました。

一方小生は、宮城県本吉郡南三陸町卯名沢の現場を手記として説明をおこなった。作業は一戸建ての家屋の掃除であったが、家の中は海底へのドロが床下に滞留しているし、家屋の周辺は瓦礫が散乱したままで、3月11日から約120日間誰の助けも受けられず一人のご老人が暮らしていたのである。実情は、小規模の被災地は行政も手付かずの状況でした。

しかも、当日避難所からの指示で現地に到着して感じたことは、見渡す限り人気のない荒涼とした風景であった。

作業時間は午前9時~午後3時迄の間、軽トラで7回約5km位の距離を瓦礫置き場まで往復した。作業人員は23人で37度の炎天下日陰らしきものは無く、コンビニの弁当をすばやく済まし又作業にとりかかった。

それはひとかけらでも多くの瓦礫をかたずける気持ちが皆にあった。作業終了後のご老人からのお礼の挨拶で言葉に詰まり涙を流されたときは、全員改めて九州から来て良かったと思った瞬間でした。

さて、今回の東日本大震災の被害状況は新聞や、テレビ等のマスメディアでたくさん報道がなされ、国民ひとり一人が一日でも早く復旧・復興の出来ることを願っています。ところが、一千年に一度の被害は南北に500kmと言う、未曾有の広大な範囲である為肝心の復旧・復興が一律に決めかねることは容易に理解できる。

したがって、私達で何か協力出来ることはないか、又は、何か役に立つことは無いかと問われると、結局、寄付等の間接的な方法しか出来ないのが現実である。私が思うに実際はフェイス対フェイスでのお付き合いが一番勇気付ける事ではないか、最初はお互いに戸惑いはあっても同じ日本人であり、お互い助け合う気持ちは通じ合うと思う。その事は今回のボランティアに参加して実感しました。

今後、必ず次の災害が東海・東南海・南海と予測されている日本列島に於いては、今回ほど地球の営みに時間を合わせる事の必要性が喫緊の課題でもある。

最後に、経営者研修会のテーマについて本来なら経営者の指針となる、講師を招き開催する予定が今回は、未曾有の災害を目の当たりにし、人間の生き方や、これからの企業のあり方を考えさせられるテーマに変更された。これを機会に、本協会の会員の職員の方々や、とりわけ、若い人(青年部会)を対象としたテーマで、社会資本整備を中心とした幅広い分野でのしかも、提案型を模索したい。近場で年に2~3回サロン方式で開催したらとおもいます。どうか、皆様のご意見をお伺いします。

元寇防塁

1274年に元(蒙古)が900隻の軍船と2万8千人の兵で博多を攻撃し、九州の御家人と戦いをくりひろげた。(文永の役)

鎌倉幕府は、この戦いを教訓として再度の来襲に備え、約半年をかけて、西は今津から東は香椎まで博多湾の海岸に約20キロメートルにわたり防塁を築くことを九州の御家人に命じた、これが防塁である。

1281年に元は再び博多を攻めたが、この防塁に阻まれ、また、台風の襲来などにより元軍は全滅した。(弘安の役)

現在、福岡市内には防塁跡が7ヶ所残っており、いずれも国の史跡に指定されている。



▲表紙の写真 元寇防塁跡

平成23年度第1回技術講習会

8月8日、春日市のクローバープラザ会議室において、平成23年度技術講習会を開催した。

上田副会長の開催挨拶で始まり、村田理事より当協会の継続教育(FCPS-CPD)履歴についての説明と、有資格者所属会社の公開について・点検技術者について等、測量部会の活動報告が行われ、引き続き測量部会の井上正則氏の東日本大震災での被災地視察報告があった。

今回の講習会では、走行車両による画像地理情報・動画データの利用促進・水災害から人やまちを守るといふ災害時での復興に向けた勉強会となった。

「モバイルマッピング移動体計測システム災害時などの活用について」

講師：(株)トプコン販売 中嶋 力氏

「全方位カメラによる動画データの利用促進について」

講師：(株)水上洋行 中島 洋司氏

「インテリジェント基準点・測量業界のJISについて」

講師：(株)カクマル 進藤徳博氏

「雨水地下貯留槽について」

講師：(株)九コン 小林順一氏



▲開催挨拶をする上田副会長

福岡市職員研究発表会への参加

11月7日、福岡市本庁舎講堂にて、福岡市道路下水道局主催で安全による安心して暮らせるまちづくりに向け、道路・河川・下水道の各事業の活性化や職員の資質向上を目的として福岡市職員研究発表会が開催された。

当協会からも会員及び会員外に呼びかけ、会員40名／会員外29名が出席し、福岡市職員の研究発表を聴講した。

次年度も会員多数のご参加をお願いいたします。



▲福岡市職員研究発表会

第31回ボウリング大会

11月18日、早良区の西新パレスボウルにて第31回ボウリング大会を開催した。13チームでの男女混合戦で平均点数を競い、僅差で接戦を制した九州コンサルタント(株)が優勝を飾った。

ゲーム終了後、すべての参加者それぞれに賞品が贈られ、和やかに会員の親交を深めた。

団体	団体は2ゲーム平均点
優勝	九州コンサルタント(株) 140.6点
準優勝	(株)西部技術コンサルタント Aチーム 139.5点
第三位	福岡ヤマックス(株) 136.7点
個人優勝	(株)ヤマウ 和田義久 334点



▲優勝：九州コンサルタント(株)

協会員の近況

【代表者変更】

・(株)中村測建	代表取締役	中村 浩之	(平成23年 8月)
・日本乾溜工業(株)	代表取締役	沢井 博美	(平成23年12月)

【FAX番号変更】

・(株)サンコンサル	FAX 582-1291	(平成23年10月)
------------	--------------	------------

福岡市技能功労者表彰

11月25日、中央区の福岡国際ホールにおいて、平成23年度技能功労者・技能優秀者表彰式が、(社)福岡市技能職団体連合会の技能奨励賞と合同で行われた。

「福岡市技能功労者・技能優秀者」は、福岡市内において、技能尊重の気運を高め、技能者の社会的地位の向上や後進の励みとなる事を目的として、永年同一職業に従事し、技能の研鑽並びに後進の指導育成に努め、市民生活の向上に功績のあった技能者を称えて表彰するものです。

当協会では、測量士として永年にわたり業務に携わってこられ、また当協会の理事・副会長を歴任された、(株)アジア建設コンサルタントの山本棧一氏へ、高島福岡市長より技能功労者の表彰状が手渡された。



▲ 福岡市長より表彰される山本棧一氏

古希を迎えた年に、はからずもこの度、(社)福岡市設計測量業協会のご推薦により、平成23年度福岡市技能功労者表彰の栄誉を賜りましたことは、長谷川会長並びに協会会員の皆様のお力添えによりますもので、ここに厚く御礼申し上げます。

私が工業高校を卒業した昭和35年頃には、エネルギー革命の最中、石炭から石油に変わる時で炭鉱は次々に閉山になる中、測量士補に合格し、測量会社に就職、現在に至り50有余年測量一筋、社名は変わりましたが今の会社で頑張っています。

今、振り返ってみますと、現場で大変苦勞した頃のことを楽しく思い出されます。平成12年に代表取締役になり現在に至っていますが、私達の業界におきましては大変厳しい時代が続いています。また、去年は地震及び津波による原発事故、台風被害と大きな災害がありました。復興に向け少しでも私達の技術が役立てればと思っております。

最後になりましたが、協会の益々の発展に少しでもご協力出来ますよう今後も頑張りたいと存じます。

(株)アジア建設コンサルタント 山本棧一

ソフトボール大会開催

10月14日、東区雁ノ巣レクリエーションセンターで第27回ソフトボール大会を開催した。

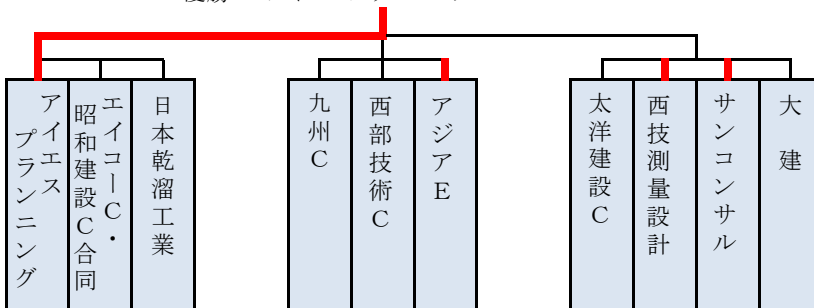
当日は、朝から降り出した雨が本降りとなり、2ゲームで終了となり、準備していた優勝賞品は勝率により4チームの中から決定した。なお、先に行われた主将会議で24年度は5月開催に決定し、五月晴れのグラウンドで思い切りバッティングできることを願っています。



▲ 優勝：アイエスプランニング



▲ 雨の中、善戦する参加者のみなさん



顧問・福岡市議会議員

- ・東 区 今林 秀明(自由民主党) ・博多区 福田まもる(自由民主党) ・南 区 国分 徳彦(みらい福岡)
 ・城南区 北嶋雄二郎(自由民主党) ・早良区 大森 一馬(自由民主党) ・西 区 江藤 博美(民主・市民クラブ)

社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員数 正会員 79社・賛助会員 17社

平成24年1月現在

設計部会 38社

アジアエンジニアリング(株)	(株)アジア建設コンサルタント	朝倉コンサルタント(株)	(株)旭建設コンサルタント
エイコー・コンサルタンツ(株)	エコーエンジニアリング(株)	(株)エム・ケー・コンサルタント	(株)エムテックエンジニアリング
九州コンサルタント(株)	極水設計(株)	(株)クマガイ設計測量事務所	玄洋技術(株)
五光設計(株)	(株)サンコンサル	佐藤設計(株)	産業開発コンサルタント(株)
(有)シティ・シビル・コンサルタント	(株)昭和建設コンサルタント	(株)新世コンソーシアム	(株)スリーエヌ技術コンサルタント
(株)西部技術コンサルタント	太洋建設コンサルタント(株)	(株)大陸総合コンサルタント	(株)拓研コンサルタント
(株)第一技術コンサルタント	第一総合技術(株)	(株)大建	(株)東洋技術コンサルタンツ
(株)トキワ・シビル	(株)都市計画設計事務所	都市企画センター(株)	西日本開発コンサルタント(株)
(株)日東技術コンサルタント	(有)野田土木設計事務所	福岡建設コンサルタント(株)	(株)富士総合技術コンサルタント
(株)不動エンジニアリング	メック(株)		

測量部会 41社

(株)アイエスプランニング	(株)アオイ	(株)アースプランニング	(株)イズミ
井野測量設計	(株)エイティティ福岡	榮邁測量設計(株)	栄和測量設計(株)
(株)ガイア	春日総合技術(株)	基洲測量(株)	共和航業(株)
技研測量設計(株)	(株)九州技術協力	九州測量設計(株)	(株)コンテック
(有)光陽測量設計	(有)国土調査事務所	三栄測量設計(株)	(株)ジオ
島西測量設計(株)	新日本測量設計(株)	(有)セイワ測量設計	(株)タイセイ技建
大正測量設計(株)	(株)高田工務所	(株)大高開発	大光技術コンサルタント(株)
大樹測量設計(株)	筑紫測量設計(株)	(株)デヴァイス藤原	(株)トーコン
(株)豊田工務所	(株)永田測量設計事務所	(株)中村測建	西技測量設計(株)
花本測量設計(株)	(株)ヒカリ建設コンサルタント	福高総合技術コンサルタント(株)	(株)明和技研
芳野測量設計(株)			

賛助会員 17社

大野コンクリート(株)	(株)カクマル	(株)柏木興産福岡支店	(株)九コン
(株)実測	(株)ジオテック技術士事務所	(株)シティプラン	日本乾溜工業(株)
日本地研(株)	福岡コンクリート製品協同組合	(株)福岡ヤマックス	福井コンピュータ(株)福岡営業所
(株)松尾測機	松永測機(株)	(株)水上洋行	水谷建設工業(株)福岡支店
(株)ヤマウ			

テストTIME

今回のテストTIMEはお休みします。

市測協だより41号の解答

- ① 南極 ② 千葉県 ③ 岩手県 ④ 正念場 ⑤ 尾ひれ

正解者の中から抽選の結果、次の方にクオカードをお送りしました。

○ 大神澄子様

○ 知識眞智子様

○ 中富まゆみ様
多数のご応募ありがとうございました。